



NATURE DESIGN

ニュース

2011年 7月号

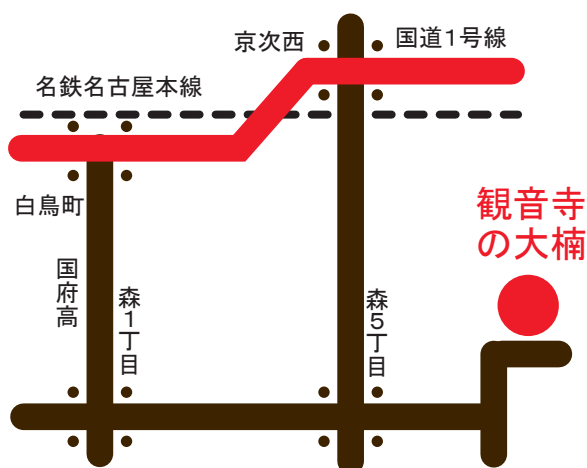


森の神様に会いに行こう

森には神様がいらっしゃいます。
数百年、時には千年以上もの
長き時間を、ただじっとそこにいて、
森を、いのちを、守りつづけてくれました。
さあ、みなさん森の神様に
会いに行きましょう。



豊川市にある『観音寺の大楠』を紹介します。幹周8.7m、樹高20m、地上すれすれの根回りは13.2mもあり、樹齢約900年の大楠です。片側の外観を見て立派だと思っていたら、反対側の主幹の半分が空洞の状態です。とても元気な姿からは想像できませんでした。落雷で自然発火して主幹の半分が焼け、お寺も類焼してしまったようです。言い伝えでは、その時に樹中から白蛇があらわれたので、蛇不動妙王の石祠がつくられ、祀られたとのこと。まるで大楠が祠を守るように見えます。また、道路に隣接しているからか、根が切られた痕跡が残っています。観音寺には墓地もあり、人と大樹の共存でやむなくの処置だったのかも知れませんね。（すぎうら）



【道案内】

[豊川市御津町上佐脇観堂]

岡崎から、国道1号線で豊橋方面に向かい、名鉄の国府駅を過ぎ、白鳥の交差点を右折。県道37号線に入り、国府高校を通過して森1丁目の交差点を左折。県道375線に入り、ずっと真直ぐに進むと突当り、左折すると見えます。



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社